

通木

Komorebi Tsushin

信もれ日

第27号

平成19年2月
つきだて花工房発
季刊誌

〒960-0903 福島県伊達市月舘町下手渡字寺窪7
つきだて花工房 TEL024(573)3888 FAX024(573)3887
つきだて交流館もりもり TEL024(571)1777 FAX024(571)1787
休館日/毎月第1、第3火曜日(休館日の前日は17時まで営業)
つきだて花工房ホームページ <http://odehime.or.jp/hanakobo/>

つきだて花工房は木もれ日のようなぬくもりと
やさしさを持ち続けるみなさまの公共施設を目指します。

花のアルバム

アルバムの
27ページ

ろうばい梅

一日の終わりに
見上げる夜空
星座のきらめき
横たわる北斗七星の杓を
5倍に伸ばすと北極星
子供の頃
はじめて覚えた星の世界
遙か遠い 宇宙の世界



冬枯れにひっそりと咲いていたろうばいの花
関根義偉さんの花木畑にて(月舘町、御代田)

小春日和が続く、穏やかな初春となりました。初釜には欠かせないといわれる蠟梅の花が、さえぎえとしたり黄金色の花を咲かせています。透けるような薄い花びらは蠟細工のようで、梅の花の香りを強くしたようないい匂い、花の少ないこの季節に、ふと心が和む一瞬です。

蠟梅はロウバイ属ロウバイ科、根にも香りを持つ落葉低木で、中国が原産です。日本には、江戸時代に朝鮮半島を渡って伝わりました。



落葉した枝に花をつける
膨らみかけた蕾が新しい春を予感

花名の蠟梅について「本草綱目」には「梅と時を同じくし、香りもまた相近く、色が蜜蠟に似ているから」と記されています。また、花が咲き始める陰暦の12月を蠟月と呼んだからとの説もあります。

雪 中四友

中国では真冬でも花を咲かせる4種類の植物、「梅・水仙・椿・蠟梅」を雪中四友と呼びます。いずれの花も詩や絵画に数多く残されていますが、特に蠟梅は、梅よりも早く咲き始め、葉がすっかり落ちたところに花が咲く姿がどことなく侘しく、茶

人や文人に好まれたようです。夏に熟す実はミノムシの巣にそっくりで、先端がくちばし状になっており割ると黒褐色の種子が入っています。種を時き育てる場合は、花が咲くまでに7、8年の月日が必要ですが、だからこそ、寒さにじっと耐えながら、可憐な花を咲かせることができるのでしょうか。雪中の蠟梅の花もまた、ことのほか美しいものです。

我家(おらい)の味噌仕込み

その日の「交流館もりもり」は、朝から大豆が煮える甘い香りが漂っていました。どこか、心がホッとする感じ。今日は、味噌仕込み…、畑で育てた大豆を使い「我家の味」づくりに挑戦です。

米味噌、豆味噌、麦味噌…故郷の数だけ、味・風味・香りが存在するといわれるのは、主原料となる大豆・麹・塩の分量の、微妙なバランスと自然条件、そして、それが人の手によって作られたものだからでしょう。

昔から味噌汁は「おふくろの味」の代名詞。朝ごはんには、湯気があがった、あつたかいお味噌汁…それだけで、今日1日が元気に過ごせるような気がします。



40時間以上水に浸した大豆をやわらかく煮る。親指と小指で大豆が潰れるくらいまで

Anniversary



▲ご結婚記念日 ご家族とご友人に囲まれてちょっと照れ気味のご主人。「お父さんおめでとう!」娘さんの言葉がまっすぐに心に響きました。(斎藤様 月館町)

日々好日
微笑ましい光景に心が和み
つきだて花工房に
優しい時間が流れます
家族の絆、仲間の思いやり
人の心の温かさ
目には見えない大切なことを
教えてくださるのは、いつも
訪れてくださるお客様
つきだて花工房
日々好日なり

Wedding



▲ご結婚披露宴 純白のウェディングドレスがピッタリの新婦、新しい兄弟と肩を組む新郎、見守るご家族。心にジーンときた一瞬でした。どんな時も、この日のことを忘れないで…(佐久間様 須賀川市)



私たちこだわって野菜づくりしています!



ノラ学校
新年会

「孫に安全で安心な美味しい野菜を食べさせてあげたい」そんな思いで野菜づくりをはじめた福島市在住の佐藤幸直さん。神奈川県から月館町の夢見の郷に新居を構え、夢だった自家菜園を始めた山田さん、その山田さんに誘われてノラ学校に入会した土屋さんも、やはり神奈川県からこの地に住まいを持った。福島市の岡崎さんは空気のいい月館町にとうとう家を借り、週末は家族と過ごす時間が増えた。

仁後さんと佐藤忠雄さんも共に福島市から月館町に通う日々…。仁後さんは蕎麦が好物、畑から収穫した辛味大根を搾りおろし、持参の蕎麦をみんなで食べる…。まさに至福の時間。佐藤忠雄さんの奥様はお菓子作りが得意で、ラッピングも素敵、センスが光る。そして川俣町の志摩見さん、福島市の仲川さんが新しく仲間に加わった。皆さん、本当に仲がいい。ノラ学校の皆さんの存在は、つきだて花工房の宝だと思う。そして畑の手ほどきをする、もりもりスタッフの人の良さと、農に対する熱い想いが緑の下の力になっているはず…。目には見えない大切なものが、確実にここにあって感じた。

遠く離れたふるさとへ

ふるさと月館を離れ、遠く離れた土地で暮らす人々がたくさんいます。風習も、言葉も違うそれぞれの土地で、それぞれの人間関係を持ちながら、きつとご自分の人生を精いっぱい生きておられることでしょう。つきだて花工房は、そんな皆さんに安心して、いつでもお帰りいただけるよう、そして、ふるさとで過ごす貴重なお時間が、思い出に残る楽しいひとときでありますよう、これからもお手伝いをさせていただきます。「おかえりなさい、ふるさとへ!」



ニューヨークより

▲月館町藤田ご出身の伊東崇子さんはグラフィックデザイナーのお仕事の為に渡米されて12年。上司と共に、ビジネスを兼ねてご帰国。

北海道より

90歳になる泉キエさんが10年ぶりにふるさと月館へ。



ゆつたりと流れる里山の時間を
感じながら、約40分で山頂に着きました。山頂は夏とは違い、空気が清々しく、周辺の山々をきれいに
見渡すことができました。冬山の良さを改めて実感! みんなで食べたおにぎりと、熱い味噌汁の味も格別でした。また次回の散策を楽しみにしています。
菅野和子様(川俣町)

冬の里山散策

一月一四日(日)

女神山に登る企画は、今回で三度目、過去二回は、天候に恵まれず中止となりました。三度目の正直! ジンクスは破れるか! そして、当日は絶好の登山日和となりました。
暖かい冬晴れの散策でした。私にとって冬の女神山も、月館側から登るのも初めて…。出発前はこれからどんな発見があるのだろうかと楽しみました。
はじめに「月の宮神社」をお参りし、頂上を目指します。女神山は、例年より雪が少なく、動物の足跡は無いだろうと予想をしていましたが、岩の上にリスが食べたのだらう松ぼっくりが落ちていたり、中腹の日陰の残雪には小動物の足跡も見つけました。
ゆつたりと流れる里山の時間を

ご案内

- 旧正月を祝う餅つき体験
2/18(日) 大人500円 子供300円 10時~13時 同時開催: 昔遊びに挑戦!(ペーゴマ・羽つき・メンコなど)
- もりもり体験教室
3/15(木) みそづくり 10時~12時 2,500円 3/22(木) こんにゃくづくり 9時~12時 1,000円

Kenちゃん歩いた Furusato no komichi

連載
8回目

道ばたの石塔に立ち止る
時間のゆとり
遠い日に思いを馳せる心のゆとり
今年そんな一年になるといい…

【茶畑の道標】 月舘町布川茶畑

町道中古屋線を茶畑地内に入り、上の左急カーブの途中、右手のゴミ収集所脇にある石碑が茶畑の道標です。風化が進んでいて、右側の「右やまみち」という文字は判読できませんが、左側の文字（左やまみち）は判読しにくくなっています。

【糠田熊野神社】 月舘町糠田字宮前

国道349号から県道月舘川俣線に入り、川俣方面に向かって右手にあります。旧糠田の村社で、縁起は不明ですが、824年（大長元年）に竣工しました。現在の社殿は明治28年から33年にかけて造営されたもので、随所に施された彫刻は手のこんだ、すばらしいものです。



見守るころ

トリノオリンピックの金メダリスト荒川静香選手のご両親を招き、子育てほのぼのトークショーが行われました。

4児の母親として私が特に心に刻んだことは、自分でできることは、自分でさせること。始めたことは最後まであきらめずに続けること。「ダメ」と言わないことでした。

「木登りは危ないからダメ」というのではなく、じつと木の下で見守り、受け止める姿勢、「泥遊びは服が汚れるからダメ」ではなく、汚れたら洗濯すればいいという気持ち。できそうで、できない現実があるはず。忙しい、忙しいとあわただしく過ぎる毎日、気が付くと子供の気持ちを忘れて、大人の都合で物ごとを解釈していることがたくさんあると思えました。

静香さんが勝ち取った金メダルは、もちろんご本人の努力と忍耐力、そして精神力があつてこそ。しかし、幼少の頃から、のびのびとした家庭環境を築き、大好きなスケートに挑戦してゆくわが子をじつと見守り、サポートを続けてこられたご両親の愛情こそが、静香さんの心の大きな支えと励みだったのだと感じました。
(渡辺里加様 月舘町)



主催/NPO法人 夢ネットワーク様

秋の夜長の 小さな朗読会 #5

朗読作品

- ナヌークの贈りもの (作 星野道夫)
- おばあちゃんは木になった (作 大西暢夫)
- わが友ノーム (作 リーン・ポルトフリート)

ブルッセルズプロウトは みんなの心の中に住んでいる

今年も手作りにこだわった秋の夜長の朗読会、慣れないのこぎりを使い300本の竹灯籠にも挑戦しました。そして、なんといつもノームの小屋にはごたわりました。ノームの小屋は最後の数分まで隠されていました。でもその瞬間のためにこそ、大切なことであるのだと思います。

ノーム、ブルッセルズプロウトの小屋は、交流館もりの前に建てられています。いつか、つぎだて花工房の大地の精が、そと住処してくるのではないかと期待します。それは、二人の心にブルッセルズプロウトが住まうということかもしれません。



▲島岡さんと出演者の皆さんを囲んで記念撮影
今回は「おばあちゃんは木になった」の著者である大西暢夫さんも、かけつけてくださいました。



写真右から、ピアノ演奏日ノ下さん、チェロ演奏・音楽担当古後さん、ファンの菅野さん姉妹

わが友ノーム イメージアルバム(5曲入り1200円)花工房ロビーにて販売中

- 1 耳をすませば(チェロバージョン)
- 2 夢の世界に
- 3 満ち足りたひととき
- 4 耳をすませば(ボーカルバージョン)
- 5 降り積もった雪

かっぱハウス東京公演のお知らせ

昨年、一昨年とつぎだて花工房で上演された作品の東京公演が決定しました。

演出/島岡安芸和 松永さち代 音楽/古後公隆

2007年3月17日(土) 昼夜2回公演

マチネ 13:00開場 13:30開演
ソワレ 18:00開場 18:30開演
場所: ティアラ江東 小ホール
都営地下鉄新宿線「住吉駅」
営団地下鉄「住吉駅」徒歩4分
前売り2,500円 当日2,800円

「夕鶴」 木下順二 作
島岡安芸和 脚色

「わが友ノーム」

リーン・ポルトフリート 作 山崎陽子 訳



季節のひとしな

福島・フルーツの恵み

りんごのコンポート

◆材料

りんご2個 水400cc 白ワイン100cc
砂糖200g レモン汁少々

◆作り方

- ① りんごを8等分に切り、塩水につけておく
- ② 鍋に水、砂糖を入れ火にかける(蜜の甘さはお好みで)
- ③ ①をざるに取り、②が沸騰してきたらりんごを入れる

- ④ さっとひと煮立ちさせたら弱火にして白ワイン、レモン汁を入れて火が通るまで煮る
※りんごをコンポートにしておけば、アップルパイやりんごジャムなど応用がききます。冷凍して置いて大丈夫なので是非チャレンジしてみてください。
※コンポート=果物のシロップ煮



花工房
ライブラリー

- 和菓子の楽しみ方
- ペーター・ヴェンへの旅

花工房BGM

- ショパン:夜想曲集、ワルツ集(子犬のワルツなど)
- ペーター・ヴェン:ピアノ・ソナタ 作品109、110、111
- ドビュッシー:組曲「子供の領分」

楽・百人一首 第28章

山里は 冬ぞ寂しさ まさりける 人目も草も かれぬと思へば
山里は冬になるといっそう寂しく感じられることだ。
訪れる人もなく、草も枯れてしまうと思うと

源宗千朝 佐

